

実施報告 【令和2年7月2日（木）実施】

京都府立東稜高等学校キャリアコース・ライフマネジメントクラスに在籍する2年生42名の学生を対象に、災害ボランティア講座に取り組みました。

京都府立東稜高等学校キャリアコース・ライフマネジメントクラスは、「環境」「公共」「防災」をテーマに、将来地域社会で活躍を目指す学生を育成され、マネジメント力・リーダー力・クリエイティブ力の3つの力の育成をめざした特色科目のクラスです。（京都府立東稜高等学校HPより引用）

まず、令和元年度台風第19号による被害に対して京都市災害ボランティアセンターが取り組んだ被災地支援活動を通して、『災害ボランティアとは』をお伝えしました。



【学生の声】

災害ボランティアの目的は、災害に遭った人の手助けをすることはもちろん、地域の絆や生きる希望を与えたり、復興の力を引き出しているということがわかった。

【学生の声】

災害ボランティアは被災者と協働しながら、少しずつ住める状態にするとても重要な役割だということがわかった。



次に、災害対応カードゲームの『クロスロード』に取り組みました。

このゲームは災害を自分事ととらえ、様々な意見や価値観を参加者同士で共有し、他者の理解を深めることを目的としています。併せて、災害対応には正解がなく、その時の自身の状況、周りの状況によって判断が異なることを体験することができます。

はじめは遠慮がちに意見を発言する様子も見られましたが、『クロスロード』の目的を伝えることで、徐々に皆さんははっきりと自分の意見を発言され、周囲の意見に耳を傾けておられました。



【学生の声】

正解がないから、自分の意見をしっかりと言えた。また相手の意見も正解であるため、いろいろな意見から考え方の幅が広がった。

【学生の声】

短い時間で自分の意見を決めることの難しさがわかった。他の人の意見をたくさん聞くことができてよかった。



【学生の声】

ゲームをしながら、お互いの考えがわかり、いろいろなことを知ることができてよかった。また、自分とは違う考え方に対して、そのような意見があるのかと思えたのがよかった。

皆さん、講義・ワークショップともに熱心に参加されました。今回の授業で災害に対する関心が高まった学生もおられ、私たちの活動が皆さんの視野を広げるきっかけの一つになれば幸いです。

京都市災害ボランティアセンターでは平時にはこのような活動に取り組んでいます。ぜひご相談ください。